

「めはりずし」に食の奥深さ

大学生 唐内 咲 19

料理の本ほど、夢のある本は世の中にないと思う。暇さえあれば、レシピ本などを眺め、「おいしそう」「食べてみたい」とページをめくり、至福の時を楽しむ。

今、心ひかれているのは「めはりずし」だ。にぎり飯を高菜の葉でくるんだシンブルなものだ。和歌山と三重にまたがる熊野地方、奈良・吉野地方の郷土料理である。おにぎ

り弁当として駅弁にもあるそう。

大学で、食に関するレポートのテーマに「めはりずし」を選び、調べていくうちに食文化の奥深さも知った。

さらに、日本各地の伝統食にも興味があった。結局、郷土料理・伝統食

について、レポートを書き上げることになってしまった。

「めはりずし」をきっかけに、世界が広がり、とても楽しかった。

冬休みなどを利用して、日本食をめぐる旅に、ぜひ出かけたいと思う。

(大阪府東大阪市)